亀山商工会議所　通常議員総会を開催

去る３月２９日(金)、通常議員総会を亀山商工会館２階ホールにて開催しました。

冒頭の挨拶で岩佐会頭は、「我が国経済は、輸出環境の改善や経済対策・金融政策の効果を背景に持ち直しの動きが現れ、景気回復への期待感が高まるものの、依然として地方の経済は厳しい状況にあり、このような状況の中、当商工会議所では中小企業・小規模事業者への経営支援事業等と共に、特に平成２５年度は、創業支援や中心市街地の空き店舗対策、東海道の歴史的資産の保全と有効活用に向けた観光開発事業、更には、国の中小企業支援の新たな取り組みである経営革新等の支援業務を行う認定支援機関に当商工会議所も名乗りを上げ、今後認定され次第、認定支援機関として積極的に中小企業の経営をサポートするなど、新たな事業にチャレンジし、地域経済に活力を生み出していきたい。」と述べました。

協議事項では、第１号議案の平成２５年度事業計画並びに一般会計・特別会計収支予算（案）は、原案通り承認可決されました。

主な事業計画の内容は

Ⅰ会員企業と商工会議所との繋がりの強化

①会員企業と地域の声の反映した活動の推進

②会員サービス事業の強化・充実

③中小企業・小規模事業者への経営支援の強化・充実

④人材の確保と雇用対策の充実

Ⅱ賑わいと活力溢れるまちづくりの推進

①商店街等の賑わいの創出

②地域資源を活用した地域活性化の推進

Ⅲ組織財政・運営基盤の強化

これらの細目として、経営革新や創業支援体制の強化・充実、消費税転嫁対策窓口相談の実施、東海道の地域資源を活用した「東海道ロマンチック街道（仮称)」事業の調査研究など、９つの新規事業がもりこまれました。

又、平成２５年度一般会計収支予算は、70,100 千円、中小企業相談所特別会計は、36,900 千円となりました。

審議に続き、去る１１月３日に堀田副会頭が受章をされた旭日双光章に対する日本商工会議所 岡村会頭からの賀状伝達が行われました。

表彰

引き続き、日本商工会議所第１１７回通常会員総会で表彰された、永年在任役員議員

表彰と三重県商工会議所連合会永年在任役員議員表彰の伝達が行われました。
　永きに亘り役員議員として会議所運営や事業活動にご尽力をいただき、今回表彰を受けられた皆様は次の通りです。

日本商工会議所 永年在任役員議員感謝状
　常議員　小菅 洋幸 氏　（２０年）
　議　員　米川 孝一 氏　（２０年）

三重県商工会議所連合会永年在任役員議員表彰状
　常議員　伊藤 富朗 氏　（４０年）
　常議員　宮西 祥雄 氏　（３０年）
　監　事　村山 昌弘 氏　（３０年）
　常議員　渡邉 一雄 氏　（３０年）

　記念講演
　「新生亀山モデル　次なるステージへ」～小さくともキラリと輝くまち・亀山～と題し、亀山市長 櫻井義之氏をお迎えし、亀山市の新たなまちづくり構想についてお話をいただき、出席議員全員熱心に講演を聴講しました。